

地域課題解決 DX コンソーシアム 設立趣意書

2024年5月
ファーストライト・キャピタル株式会社

1. 設立背景

世界最速で人口減少社会に突入している我が国では、地域経済を支えてきたレガシー産業（製造業、建設業、医療、教育、農業・林業、物流等）における労働力不足が喫緊の社会課題となっている。短期的な労働人口増加を見込むことができない中、地域経済を維持するためには、SaaS・AI・ハードウェアなどのテクノロジーを活用した一人当たり生産性の向上が急務である。

地域において、レガシー産業の生産性向上を実現するDXスタートアップ（以下、地域課題解決型スタートアップ）との連携ニーズが高まりつつある一方、地域企業と地域課題解決型スタートアップの間には地理的・心理的な隔たりが存在し、局所的な連携にとどまっているのが現状である。

この現状を打破し、全国のレガシー産業の一人当たり生産性向上を図るためには、「面」で地域企業と地域課題解決型スタートアップの橋渡しを行う新たな枠組みが求められている。

また、各地域のレガシー産業が直面する労働人口減少問題は、ある意味「世界最先端の社会課題＝イノベーションの種」とも捉えることができ、地域金融機関の広域連携を通じた地域課題の収集とハンズオン支援に強みを持つベンチャーキャピタルによる事業化支援の取り組みにより、「人口減少社会における新たなイノベーション創出」にも期待が集まっている。

本コンソーシアムは、地域課題解決を命題に掲げる「地域金融機関」および地域課題解決型スタートアップのネットワークを有するベンチャーキャピタルとの広域連携の国内初の取り組みとなる。

2. コンソーシアムの目的

本コンソーシアムは、地域金融機関とベンチャーキャピタルの広域連携を通じて「人口減少に伴う地域の産業課題」「レガシー産業の一人当たり生産性向上を実現する地域課題解決型スタートアップ」の情報を集約し、地域横断的に知見が共有される枠組みを形成することを目的とする。

その結果として、以下の価値創出も目指す。

- (1) 地域に点在する人口減少社会におけるイノベーションの種の収集
- (2) 地域課題解決型スタートアップの地域展開の加速
- (3) DXソリューション活用による地域企業の生産性向上

3. 取組内容

上記目的を達成するため、会員の連携の下、次に掲げる取り組みを行う。

- (1) 各レガシー産業の労働人口減少に伴う課題の調査・分析
- (2) 地域課題解決型スタートアップのリスト化・ネットワークの構築
- (3) 各地域における地域企業のDX成功事例の共有
- (4) (1)～(3)を会員間で連携・共有する定期全体会の実施
- (5) その他本コンソーシアムの目的を達成するために必要な取組

4. 体制と開催日程

以下体制で2024年7月にプレス発表会、第1回全体会の実施を予定。第2回以降の全体会は四半期ごとの開催を予定。

- ・発起人：ファーストライト・キャピタル運営ファンドに出資の地域金融機関・ファーストライト・キャピタル株式会社
- ・正会員：ファーストライト・キャピタル運営ファンドに出資の地域金融機関
- ・事務局：ファーストライト・キャピタル株式会社
- ・アドバイザー：古屋 星斗様、Next SaaS Media Primary